

# 平成 26 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち  
 政策目標 3 盛んな産業といろいろな働き場があり、成長するまちに  
 重点的取組 3 将来の産業拠点をつくる

担当課名	分権政策部 経営政策課		
予算科目目	会計	01	一般会計
	款	02	総務費
	項	01	総務管理費
	目	06	企画費

事業名	計画調査事業	事業開始年度	平成 26 年度
	新機能都市開発構想調査検討業務	根拠法令 条例 個別計画等	—

## 1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	市民、企業	新たな活力を創出し、都市の発展を牽引する拠点として、雇用の拡大や定住の促進に寄与する。

## 2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市 (調査検討)	国、県、民間企業等	構想の具体化に向けて、開発の可能性について検証し、土地利用方針を決定する。

## 3 平成26年度 予算(事業の内容・コスト情報・目標到達見込)

活動内容	新都市活力創出拠点である平良・佐方地区において、各種調査・検討を行い、開発可能性の検証を行う。		
	(検討内容) ・社会経済環境及び企業立地動向の検証 ・本市の立地と区制の把握及びまちづくりにおける整合性・妥当性の検証 ・開発条件の整理 ・造成に伴う工事費等の積算及び分譲価格に係るシミュレーション ・実施判断のために考慮すべき要素の整理と現状の分析  ・事業費関連 【歳出】 ・新機能都市開発構想調査検討業務 15,000 千円 ・事務費 357 千円		

コスト情報(円)	項目		平成 24 年度決算	平成 25 年度予算	平成 26 年度予算
	財源内訳	直接事業費 A			15,357,000
		国庫支出金			
		県支出金			
		借入金(市債)			
		その他(使用料など)			
		市(市税など)			15,357,000
	人件費(按分) B	人	人	1.50 人 12,766,500	
	総事業費(A+B)			28,123,500	
ト換算	①	人口(4月1日現在)	118,000 人	118,000 人	117,680 人
	②	市民1人当たり			239

到達目標	活動及び成果指標		単位	H24 実績値	H25 目標値	H26 目標値	H27 目標値	備考
	活動	企業立地動向の把握				企業アンケート及び訪問等		
	成果	進出企業の立地・誘導				土地利用方針の決定	事業計画策定	